



発行所
十勝毎日新聞社

©十勝毎日新聞社2004

〒080-8688

帯広市東1条南8丁目

TEL(代表)0155-22-2121

編集局 0155-22-2121

広告局 0155-23-2323

販売局 0155-24-2222

事業局 0155-22-7555

総務局 0155-24-2299

広尾支局 01558-2-4111

池田支局 01557-2-2367

本別支局 01562-2-2618

新得支局 01566-4-5524

札幌支社 011-261-2161

東京支社 03-3544-1365



遠隔操作の初フライトに成功した全長68mの飛行船

飛行船初フライト成功

大樹

【大樹】独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)情報通信研究機構(NICT)は12日早朝、大樹町多目的航空公園で全長68mの定点滞空試験用飛行船を遠隔操作で飛行させることに成功した。これまでは浮上実験にとどまっていたが、今回の初フライトでは高度2500mまで上昇し、同公園周辺で8の字飛行

なども実施。国が進める成層圏フライトフォーラム構想が1つ前進した。成層圏フライトフォーラムは全長2500mの無人飛行船十数機を日本各地の高度約20kmに浮かべ、通信放送や地球観測、災害監視に生かす計画。この日は午前6時15分にハンドリングエリアから離陸。同公園一帯をゆっくりと旋回し、上昇

下降、方向転換などで遠隔操作の具合やバランスを確認した。離陸地点から最大約3・8km先まで移動し、約1時間のフライトを無事終了した。JAXAの総合技術開発本部・航空利用技術開発センターの清水亨センタール長は、初飛行は順調。段階を踏んでステップアップしたいと話し、関係者も安心の表情。見学に

訪れた伏見悦夫町長も「成功して良かった」と笑顔を見せていた。

今年中に同飛行船を上空4kmまで浮上させ、各種データを集積する予定。
(松村寛裕)